

大阪 高槻ラウンド報告書



令和7年9月6日（土）ハイブリッド方式による「高槻ラウンド」を開催しました。今年も、関西大学高槻ミュージャンパスを会場に開催しました。会場には、対面で24名、ZOOMで13名の、合計37名の方に参加いただくことができました。会場を提供いただきました関西大学中部・高等部の校長先生や保健体育科の先生方には、準備から片付けまで、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

1. 「次期学習指導要領改訂に向けた審議の状況とこれからの体育」

愛媛大学の日野先生からは、学習指導要領改訂に向けた現在の審議を踏まえてお話しいただきました。論点整理をもとに、体育・保健体育における3つの資質・能力について、現行の学習指導要領における成果や課題等を整理していただきました。球技（ネット型）を例に、ボール操作とボールを持たないときの動きについてどのような教材の工夫があるのか、見せていただいた動画から多くのヒントを得ることができました。



2. ワークショップ「各領域の『楽しさ』を深掘りするワークショップ」

日本女子体育大学の高橋先生からは、まず、令和6年12月の中教審へ諮問された内容から「中核的な概念」について、体育・保健体育の見方・考え方やマット運動を例に解説していただきました。ワークショップでは、まず、その領域でこそ楽しめる概念知について検討し、そのために必要な指導などを考えていきました。ワークショップを通して、「何のために」という概念につながる指導の大切さを実感することができたと思います。



3. まとめ

まとめとして、高橋先生から新たな観点別評価の方向性についてお話しいただきました。「学びに向かう力、人間性等」の指導と評価について、新しい情報を取り入れていくことももちろん重要なことですが、現行の学習指導要領に基づいて、しっかりと指導し評価していくことが大切であることを改めて考えることができました。

毎年高槻ラウンドへ参加して下さる先生方、今回初めて参加していただいた先生方、みなさまいつもありがとうございます。今年は、学生の方もたくさん参加していただき、いつも以上に活気もありました。



また来年度もみなさまとお会いできればうれしいです。ありがとうございました。

（文責：岩佐知美）